



値上げの春と18歳成人

校長 松田 隆幸

令和4年度もいよいよ始まりました。ピカピカの新入生で、記念すべき50期生を迎え、409名の岸川中学校のスタートとなりました。

実は、学校も生徒に対して指導しているのと同じように、3学期はこれまでを振り返り、改善箇所を洗い出しました。これまでの方策を改善すべく会議を重ねてきました。昨年度の総括は、コロナ禍で、多くの教育活動が制約を受ける中ではありましたが、学力・体力等幾多の面で大きな成果を上げることができました。卒業生を含めた生徒の頑張りとおかげで感謝しております。更なる高みを目指して、今年度からいくつかの変更を行います。朝の学習の時間の設定、総合的な学習の時間を使った探究学習&卒業論文づくり、授業時間の中で一人一人の課題に応じた個別の学習の展開等が始まります。ガソリンをはじめ、食品、衣料品等々多くの商品が値上げする春です。岸川中学校では、授業改善を前面に打ち出し、学力を上げる春のスタートといたします。令和4・5年度の川口市教育委員会からの「学力向上」の分野で研究委嘱を受けました。岸川中学校が得意としてきたGIGA PCをこれまで以上にフル活用し、その成果を求めてまいります。

民法が一部改正され、「成人」が18歳となりました。もう既に10年近く前に成人式を終えた我が子たちが18歳の時に、、、自分が18歳の時に、、、「成人です」と言われたら、、、と、考え込んでしまうところです。クレジットカードも親(保護者)なしで、18歳の成人が作ることができます。言い換えれば、親の責任の及ぶ範囲がことなることとなります。スマホの購入も可能。いろいろなことができるようになるわけです。当たり前ですが、「成人」なので、酒・たばこ等以外はできるようになるという訳です。高校では、金融に関する授業も始まることになりました。中学校を卒業して3年で成人となると、これまで以上に中学校は成人に近づける学びを提供しなければと思うところです。自分で選ぶ力・自分で決める力・自分で責任を取れる進路指導を目指していきます。

家では、何一つ決定権のない私も勉強しなければ、、、。